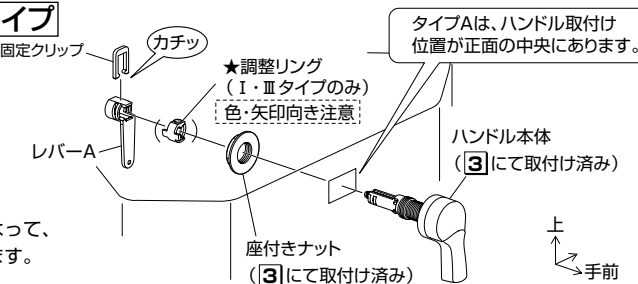


4A レバーの取付け【Aタイプの場合】

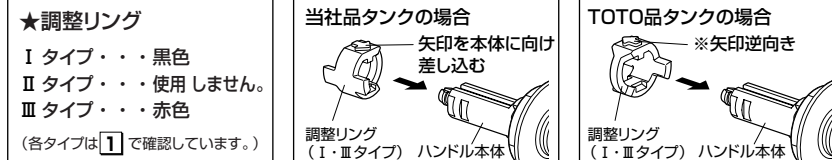
●取付けイメージ【Aタイプ】



★印：ハンドル動作タイプによって、使用する部品が異なります。

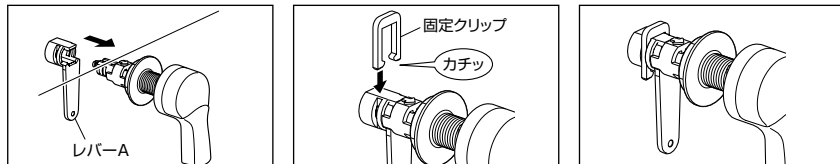
●部材の取付け

(1) ハンドル動作Ⅰ・Ⅲタイプの場合、仕様にあった調整リングをハンドル本体に差し込みます。Ⅱタイプは(2)へ進んでください。



※ TOTO の場合、調整リング矢印を逆向きに差し込みます。

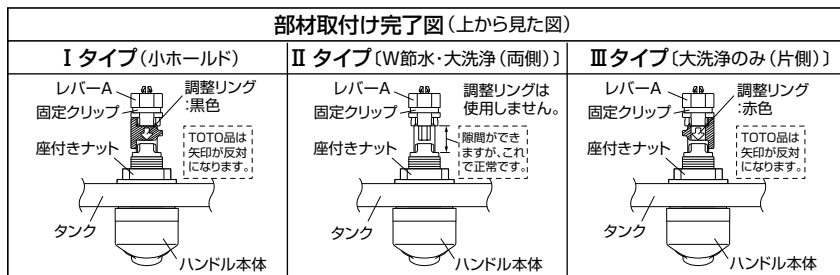
(2) レバーAと固定クリップを取付けます。※確実に固定したことを確認してください。



①レバーAを差込みます。 ②固定クリップを差込みます。 取付け済み状態

●ハンドル動作の確認・部材取付け状態の確認

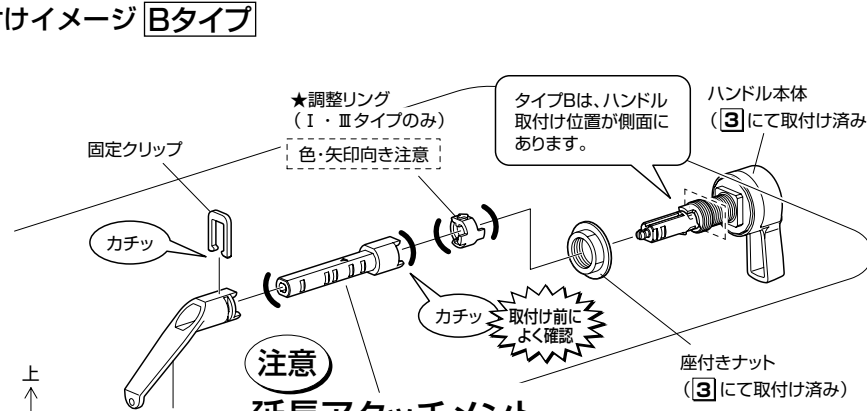
(3) ハンドルが、タイプ通りの動きをするか確認してください(① - (2) 参照)。違う場合は下図を参考にして取付け直してください。



5へ進んでください。

4B レバーの取付け【Bタイプの場合】

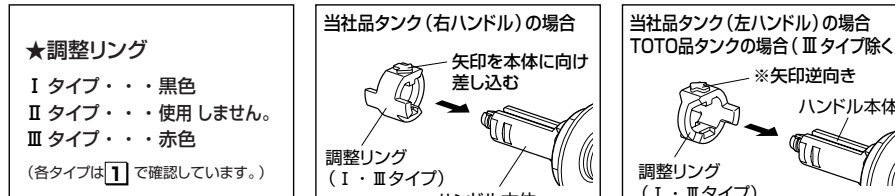
●取付けイメージ【Bタイプ】



★印：ハンドル動作タイプによって、使用する部品が異なります。

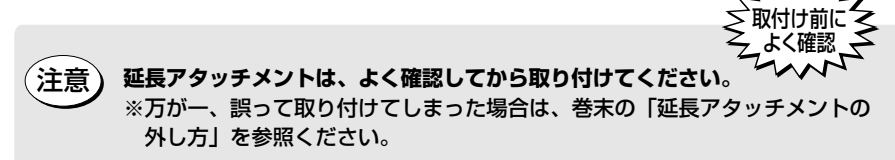
●部材の取付け

(1) ハンドル動作Ⅰ・Ⅲタイプの場合、仕様にあった調整リングをハンドル本体に差し込みます。Ⅱタイプは(2)へ進んでください。



※ハンドルがタンクに向かって左側についている場合、TOTO品タンク(Ⅲタイプ除く)の場合は、矢印の向きと逆に差し込みます。

(2) 右のフローチャートに従ってレバーを取付けてください。

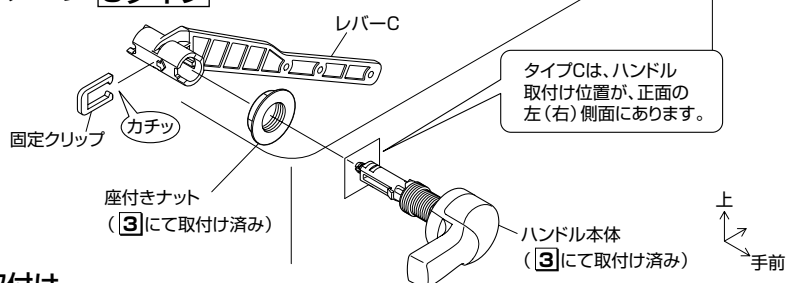


(3) ハンドルが、タイプ通りの(古いハンドルと同じ)動きをしているか確認してください。(① - (2) 参照)

5へ進んでください。

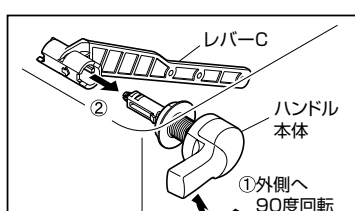
4C レバーの取付け【Cタイプの場合】

●取付けイメージ【Cタイプ】

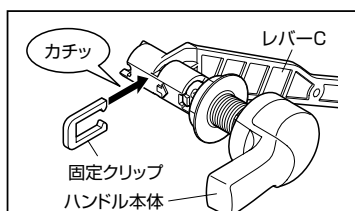


●部材の取付け

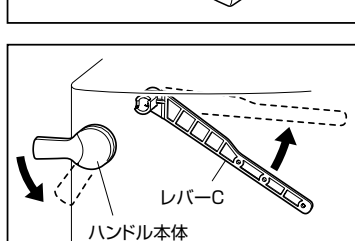
(1) レバーCを取付けます。
①ハンドル本体をタンク外側へ90°回転させながら、
②レバーCをハンドル本体に差し込みます。
(ハンドルがタンクに向かって正面右側にある場合、レバーCの差し込む向きは逆になります。)



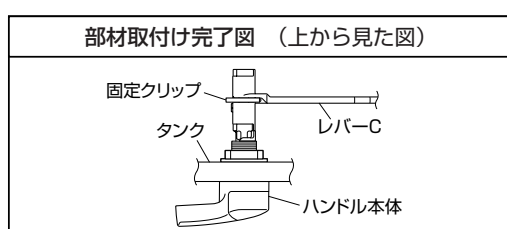
(2) 固定クリップを差し込みます。
※確実に固定したことを確認してください。



(3) ハンドルが図のような動きになることを確認してください。



違う場合は部材取付け完了図を参照して取付け直してください。

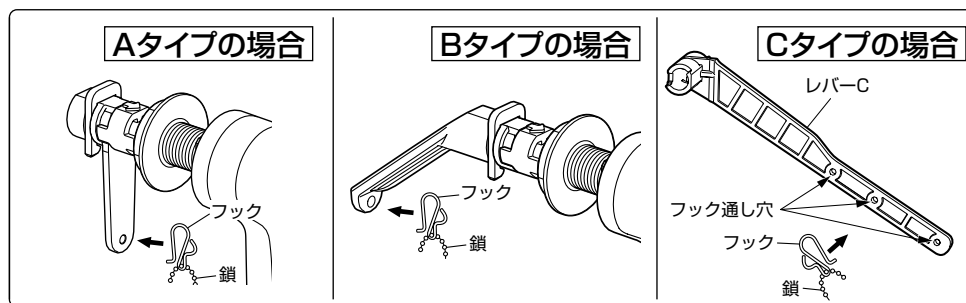


5へ進んでください。

5 鎖のフックの取付け【A・B・Cタイプ共通】

(1) フックを鎖ごとハンドルレバーに取り付けます。

- 必要に応じてフックは新しい物と交換してください。
- Cタイプの場合、古いハンドルの長さ付近にフックを通します。(右下図参照)



(2) ハンドルを回転させ、正常な動きかどうかを確認します。

- フロント弁が常に開いていたり、開かない場合は、次の通りに調整してください。

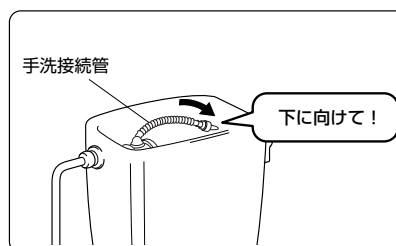
①鎖が張った状態(ハンドル操作無し)から、2~3玉たまるように鎖の長さを調節します。
②鎖を取り付けた後、右図○印部にすき間がなく、鎖が抜けないことを確認してください。
※鎖が抜けると、止水不良の原因になります。

- 注意
- ストッパーがあるタイプは鎖をストッパー輪内に通して取付けてください。
 - 鎖の長さをきちんと調節してください。
 - 止水不良の原因になります。
 - 鎖をフックに取り付けるときは、奥までしっかりと取り付けてください。
 - 洗浄不良の原因になります。

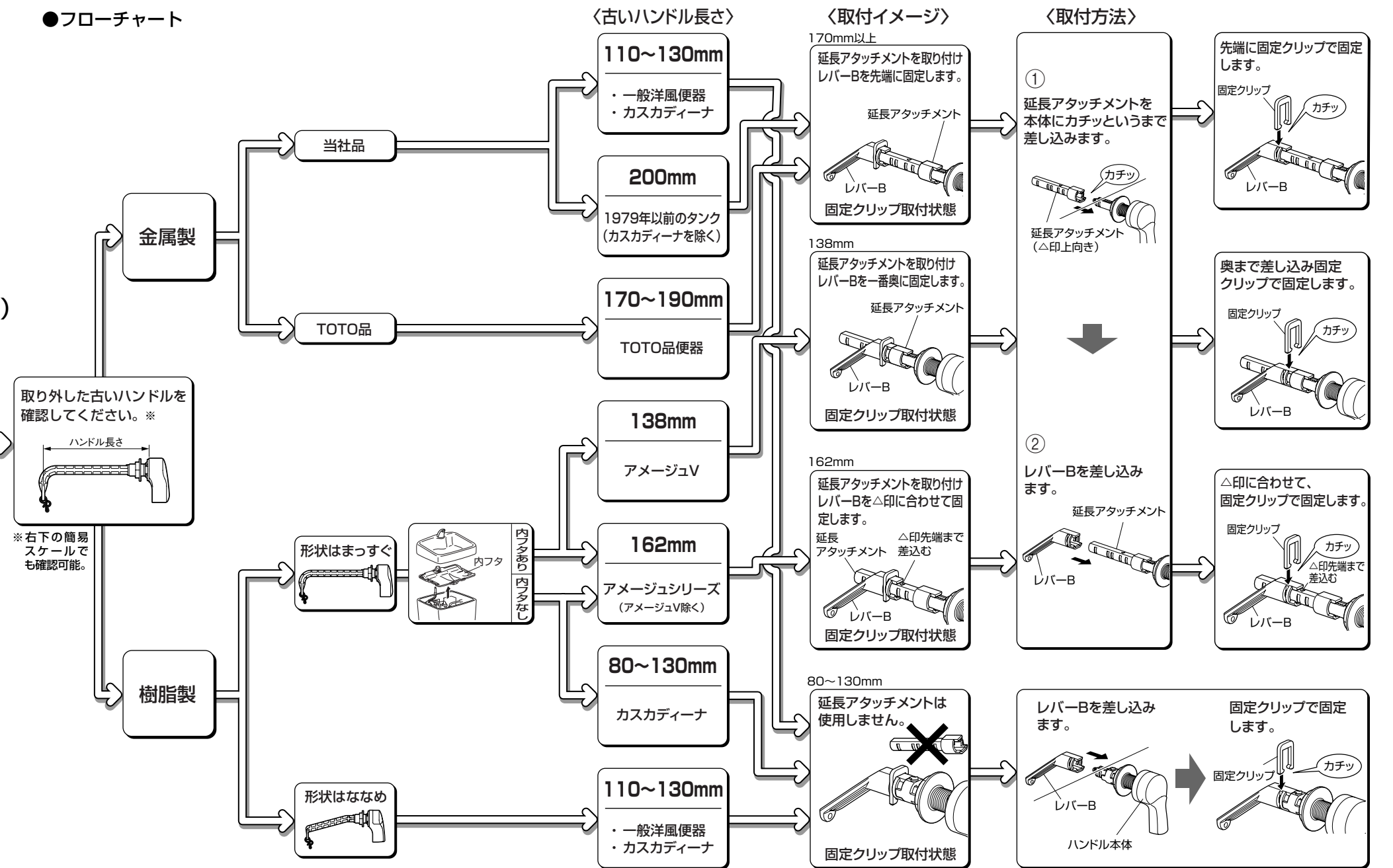
6 通水

(1) 手洗付の場合は、手洗接続管の出口をタンク内の下に向けます。

- 注意
- 手洗接続管の出口は必ずタンク内の下に向けてください。
※上に向いていると、タンクの外に水が飛び出す恐れがあります。



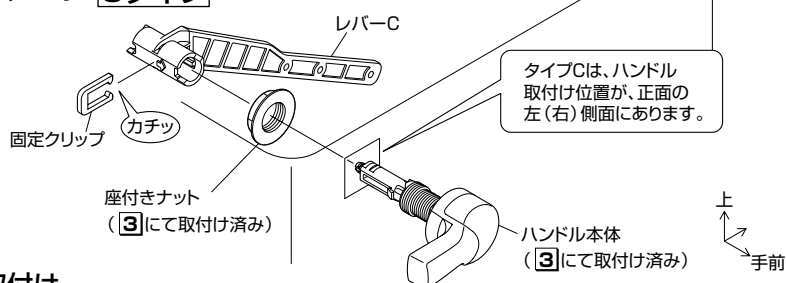
●フローチャート



「簡易スケール」 230 200 150 100 50
延長アタッチメント使用 ← 135 → 延長アタッチメント不使用

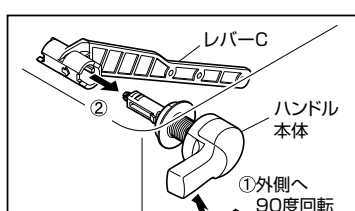
4C レバーの取付け【Cタイプの場合】

●取付けイメージ【Cタイプ】

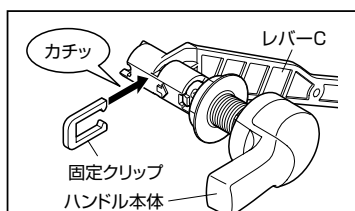


●部材の取付け

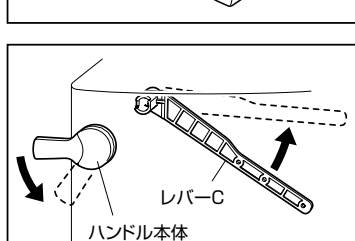
(1) レバーCを取付けます。
①ハンドル本体をタンク外側へ90°回転させながら、
②レバーCをハンドル本体に差し込みます。
(ハンドルがタンクに向かって正面右側にある場合、レバーCの差し込む向きは逆になります。)



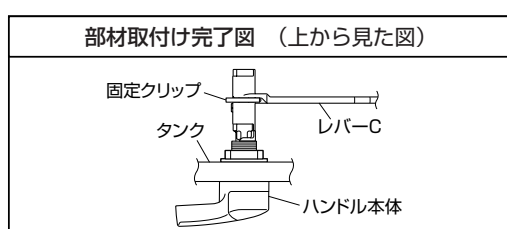
(2) 固定クリップを差し込みます。
※確実に固定したことを確認してください。



(3) ハンドルが図のような動きになることを確認してください。



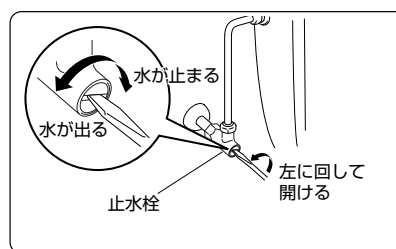
違う場合は部材取付け完了図を参照して取付け直してください。



5へ進んでください。

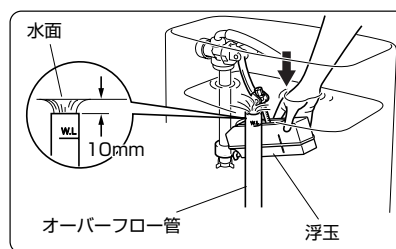
(2) 止水栓のねじをドライバーで左に回してタンクへ通水します。

- 注意
- 止水栓ねじをメモしておいた元の位置にしてください。



※止水栓ねじの位置がわからなくなった場合は、ボールタップの浮玉を押し下げ、水を出し放しにしたときに、水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓で流量を調節します。

- 注意
- 10mm以上上昇する流量だと、万が一ボールタップが故障した場合、床に水があふれ恐れがあります。

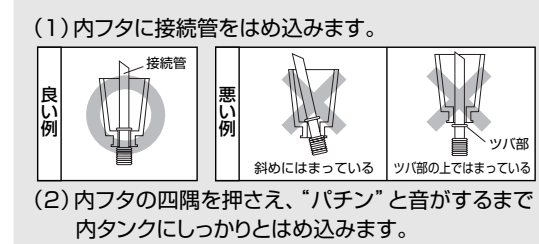


7 タンクフタの取り付け

タンクフタを取り付けます。

※手洗付の場合は、元の通りに接続管を取り付けてください。

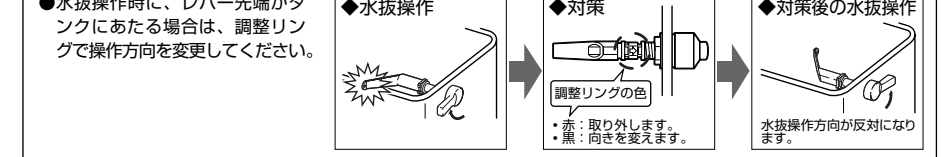
- 注意
- 内フタで手洗付の場合は以下の要領で取り付けてください。



8 取付け後の確認

ハンドルを2~3度操作して、正常に動作するか、水漏れしないか確認してください。

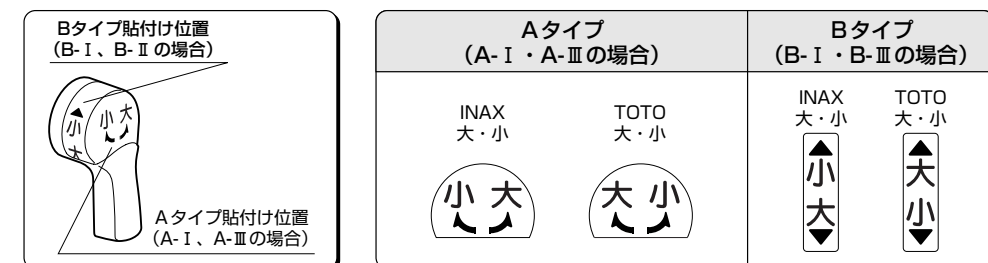
- 【ご注意ください】カスカディーナDC-3580,4580の場合、シャワートイレM1の場合。
- 水抜操作時に、レバー先端がタンクにあたる場合は、調整リングで操作方向を変更してください。
 - 水抜操作
 - 対策
 - 対策後の水抜操作



※取り外しは、B-Ⅲタイプ取り付け方法【4B】の逆の順番で行ってください。

9 表示シールの貼付

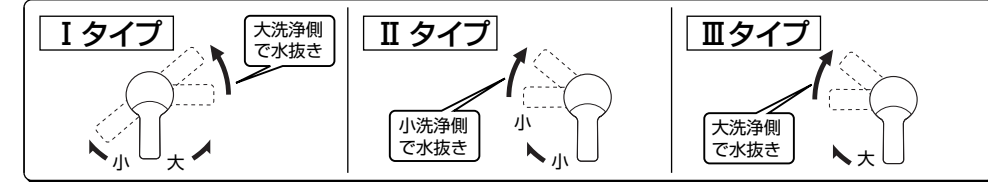
同梱の大小表示シールから、古いハンドルと同じ方向表示のシールを貼ってください。(Cタイプと、A-Ⅲ、A-Ⅱの大洗浄(両側)、B-Ⅲは貼りません。)



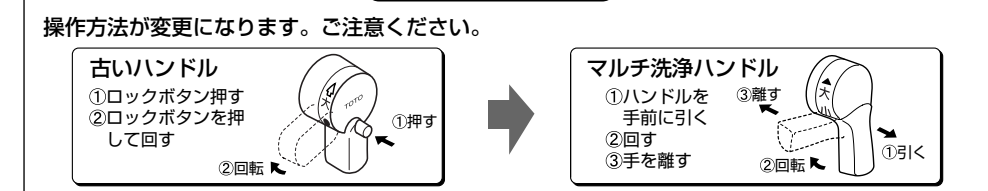
10 「品番シール」と「水抜き(ロック)機能についてのシール」の貼付
同梱の2つのシールをタンクをよく見える位置に貼ってください。

●寒冷地水抜仕様タンクの場合

マルチ洗浄ハンドルは、水抜出来る構造となっております。寒冷地でお使いの場合(古いハンドルが水抜仕様の場合)、ハンドル取付け後に各タイプ別の水抜き操作を確認頂きます様をお願いします。



TOTO品タンクの場合



●延長アタッチメント外し方

先の細いマイナスドライバー(幅3~5mmが最適)を用いて、手順①~③の流れで延長アタッチメントを外す。

